

園芸技術情報 ～ ブロッコリー ～

令和5年9月29日

胆振農業改良普及センター本所
電話：0142-23-3195



普及センターHP

「黒すす病」の秋防除について

- ◎9月下旬以降も「黒すす病」の発生が多い状況です。
感染拡大を防ぐため、追加防除を検討しましょう。
- ◎薬剤耐性菌の発生を防ぐため、同一系統剤の連用は避け、
ローテーション防除を行いましょ。
- ◎収穫後の残さは速やかにすき込みましょ。
残さの放置は、収穫前の株や隣接ほ場への伝染源となります。
また、未分解の残さは翌年の発生源となる恐れがあります。菌密度低下のため、残さの「ほ場外持ち出し処分」も検討しましょ。

「黒すす病」に効果が認められている薬剤

薬剤名	系統	希釈倍数	使用時期	使用回数
アフエツト フロアブル	SDHI	2,000倍	収穫前日まで	3回以内
パレード20 フロアブル	SDHI	2,000～ 4,000倍	収穫前日まで	3回以内
アミスター20 フロアブル	QoI	2,000倍	収穫3日前まで	3回以内
スクレア フロアブル	QoI	2,000倍	収穫前日まで	3回以内
ホライズン ドライフロアブル	その他 QoI	2,500倍	収穫前日まで	3回以内
シグナムWDG	SDHI QoI	1,500倍	収穫7日前まで	2回以内

いずれの薬剤も使用量は10aあたり100～300ℓ

※「シグナムWDG」は『はなやさい類(ブロッコリー、カリフラワーなど)』で登録あり

～農薬散布は、希釈倍数・時期・回数に注意しながら行いましょ～
農薬購入・在庫確認は、お早めに最寄りのJA資材店舗までお問い
合わせください。